

2004年4月1日
日本銀行山形事務所

全国企業短期経済観測調査結果（2004年3月調査）
山形県内分

1. 業況判断 前回12月調査に比べ7%ポイント改善。先行きは再び悪化を予想（12月 16 3月 9 6月 24）。

製造業は、電気機械がデジタル関連製品の需要好調から更に改善したため、前回12月調査に比べ9%ポイント改善し2000年9月調査（旧ベース+5）以来3年半振りのプラスとなった。

先行きについては、電気機械が競争激化等による製品価格下落懸念から、輸送用機械が排ガス規制強化関連のトラック向け需要の減少から、悪化を予想しており、再びマイナスとなる予想（12月0 3月9 6月 7）。

非製造業は、建設・不動産、卸・小売が受注・売上増から改善した一方、運輸が荷動きの低迷から悪化したため、前回12月調査比横這いに止まった。

先行きについては、建設・不動産が公共工事の減少懸念等から大幅悪化を予想しているため、再び悪化する予想（12月 36 3月 36 6月 52）。

2. 売上高・経常利益 2003年度は売上高、経常利益とも前年度比ほぼ横這いの見込み。2004年度は売上高がほぼ横這いながら経常利益は前年度を大幅に上回る計画。

（2003年度実績見込み）

製造業は、食料品等が減収減益ながら、電気機械、輸送用機械が増収増益となるため、全体では増収増益を確保する見込み（売上+4.7%、経常利益+21.6%）。

非製造業は、建設・不動産、卸・小売を中心に減収減益となる見込み（売上高 4.9%、経常利益 33.6%）。

（2004 年度計画）

製造業は、電気機械が減収増益となる計画であり、全体でも小幅減収ながら前年度を 2 割方上回る増益となる計画（売上 2.6%、経常利益 + 22.8%）。

非製造業は、建設・不動産、運輸が減収増益、卸・小売が増収増益となる計画であり、全体では売上高がほぼ横這いながら経常利益は前年度を大幅に上回る計画（売上高 + 0.4%、経常利益 + 36.5%）。

3 . 設備投資 2003 年度は前年度を大幅に上回る見込み（+ 56.4%）。2004 年度も前年度比 3 割増と 2 年連続で増加する計画（+ 32.6%）。

（2003 年度実績見込み）

製造業は、前回 1 2 月調査に比べ若干下方修正されたものの、電気機械を中心に前年度を大幅に上回る見込み（+ 66.5%）。

非製造業は、情報通信で一部の先が大口投資を実施したことなどから前年度を 2 割方上回る計画（+ 21.7%）。

（2004 年度計画）

製造業は、電気機械の能力増強投資を中心に引き続き前年度を 4 割近く上回る計画（+ 37.4%）。

非製造業は、情報通信が減少するものの、卸・小売等が増加することから前年度を 1 割方上回る計画（+ 10.1%）。

以 上